

資質能力	評価項目	生徒	保護者	職員	総合評価	対 策
主体的挑戦力（学力向上部）	基礎的・基本的な学力が身につけている	2.9	3.2	3.2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○用語大会を実施し、各教科の基礎学力の向上を図る。 ○生徒たちが「分かる」「できる」「好き」と感じる授業づくりを、南関中授業スタイルを通して一層進めて進んで学びに向かえる意欲付けを図っていく。 ○生徒会（学級委員会）で学ぶ意義について考える機会を設定する。 ○校内研究を核に、協働的な学びと振り返りを大切に、ICTを活用した授業改善を進める。 ○自学タイム等の時に手本となる自主学習ノートを提示し、よいところに気づかせていく。 ○「学習の達人5箇条」については、家庭も含め再度周知徹底を図る。「チャレンジ南関中ノート」を使用して再確認する。 ○学級委員会で「学習の達人5箇条」調査を行い、意識の向上を図る。 ○家庭学習について、量だけでなく質の向上を図る指導も行っていく。 ○主体的に学ぶ場の設定（授業中の教師の指示や話の削減、昼休み放課後自学の場開放、寺子屋教室の利用など） ○生徒会や学級会など生徒が自主的に発案し、実施する活動を引き出す投げかけを行う。 ○生徒集会の中で、自分の考えを表現する機会を設ける。
	授業は、南関中授業スタイルで行われている	3.3		3.2		
	子どもは(自分は) 進んで学習に取り組んでいる	2.8	2.9	2.9		
	授業は、わかりやすく理解できている	3.0	3.0	2.8		
	毎日家庭学習を行っている	3.2	3.1	3.2		
	タブレットや電子黒板を活用した授業ができている	3.5	3.4	2.7		
	授業中、自分の考えをじっくり考えたり、友だちと意見を交換したりしている	3.2	3.2	2.8		
	「学習の達人5箇条」ができている	3.0	3.0	2.9		
	生徒会活動や班活動を頑張っている	3.2	3.2	2.9		
	国語が好きである	3.1				
	国語が理解できている	3.1				
	社会が好きである	3.0				
	社会が理解できている	3.1				
	数学が好きである	2.7				
	数学が理解できている	2.8				
	理科が好きである	3.1				
	理科が理解できている	3.0				
	英語が好きである	2.7				
	英語が理解できている	2.6				
	音楽の授業が好きである	3.2				
美術の授業が好きである	3.1					
保健体育の授業が好きである	3.1					
技術の授業が好きである	2.8					
家庭の授業が好きである	2.8					
夢実現力（体づくり部）	自分の将来を考え、目標に向かって学習ができている（キャリア教育の推進ができている。）	2.7	3.2	2.4	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習の時間を中心に、3年間を通したキャリア教育を推進するために、指導計画の見直しと改善を進めていく。 ○キャリアパスポートの活用を道徳や教科等にも取り入れていく。 ○目標を設定する時間、場面を多く作る。目標を立てる習慣を身に付けさせることが大切。学級活動を活用して目標設定の充実を図る。 ○体育の授業を中心に運動の楽しさや喜びを味わわせ、健康的な生活の意識を高める。 ○学校での掃除の様子を家庭に伝え、日常生活での実践に繋げる。 ○自力登校については保護者の協力が必要。自力登校の大切さを保護者と考えたり、啓発したりする取組が必要。 ○掃除を学校ではとても頑張っている。どのような場面でも率先して行う主体性を身に付けさせる必要がある。
	毎日遅刻せずに自力で登校している	3.3	3.4	2.4		
	体力を向上させたいと思っている・努力している	3.0	3.0	2.4		
	病気やケガも少なく、健康的な生活を送ることができている	3.2	3.4	2.9		
	登下校時に、交通ルールを守り、安全タスキの着用ができている	3.8	3.7	3.2		
	学校給食が楽しみで残さず食べている	3.1	3.3	3.1		
	毎日朝食を食べ、望ましい食習慣がついている	3.6	3.4	3.0		
	「掃除」を頑張っている(家庭で片付けや掃除をしている)	3.4	2.6	3.5		
絆構築力（心づくり部）	学級にいると心がやすらぐ(心安らぐ学校、学級づくり)	3.0	2.9	2.8	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○生活アンケートや居場所づくりチェックリストを通して実態を把握し、安心できる学級・学校づくりの意識を高めていく。 ○自己肯定感を高める手立て（生徒の良い行いや頑張りを機を失わずに褒める、生徒が自信を持てる場づくりをする等）を工夫し、実践していく。 ○生徒会で行っている挨拶運動を盛り上げる雰囲気づくりを工夫する。 ○道徳の授業については、本校で特に重視したい価値項目を確認し、それを醸成するために「道徳の時間」と「日常生活での指導」を展望と計画をもって進めましょう。 ○SCの講話にストレスマネジメント+「どのようなことが褒められていることになるか」「どのように褒めてもらいたいのか」などの視点で話していただき、職員の研修を深める。 ○1分間スピーチの返しを継続していく。 ○行事ごとに振り返りを行い、その場面ごとにしっかりと賞賛する。
	先生方から認め、褒め、励まされている	2.8	3.0	3.1		
	自分には、良いところがあると思う	2.8	3.0	2.9		
	毎週、道徳の授業が行われ、充実している	3.1	3.0	3.0		
	道徳の授業で学んだ事は生活で活かしている	3.1	2.9	2.8		
	いじめのない学年・学級づくりができている	3.5	3.1	3.3		
	学年・学級での1分間スピーチは充実している	3.1	2.9	3.2		
	「明るいあいさつ」ができている	3.1	3.1	2.5		
生徒が欠席したときは電話連絡や家庭訪問を行っている。	3.1	3.3	3.3			
その他	学校や学級は、落ち着いた学習環境である	2.9	3.1	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○昼休みに落ち着いた過ごせる場を開放したり、周りのことを考えて過ごす意識付けを図っていく。 ○生徒会活動で花のある環境づくりを進める。 ○通学路は、生徒の声を聞きながら学校やPTAなどで定期的に点検し、課題があれば教育委員会や役場と連携し、対応する。 ○引き続き、通信やHPを活用し情報発信をする。 ○新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行い、地域の方々の来校を進めていく。 ○働き方改革の取組をトップダウンだけでなく、ボトムアップ方式で進める体制を整える。 ○陽だまり教室にいる生徒や学級と学校での居場所づくりに困り感を持っている生徒に寄り添い、支援する体制を整えていく。
	学校は、花・緑であふれた学校である	3.4	3.3	3.4		
	学校は、きちんと整備された美しい学校である	3.1	3.2	3.2		
	通学路は、安心して登下校できるよう整備されている	3.3	2.7	3.0		
	学校は、地域の教育力を活用し連携している	2.9	3.1	3.3		
	学校は、家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくりを推進している	3.2	3.0	3.4		
	学校の働き方改革は進んできている			2.5		
陽だまり教室に足を運んでいる。生徒の様子を知っている			2.7			

表の見方

十分適切である(3.5以上)	3.1
おおむね適切である(3.0以上3.4以下)	3.0
課題がある(2.5以上2.9以下)	2.7
速やかな改善が必要である(2.4以下)	2.6